

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551) 6215～9  
ロシア東欧経済研究所 [購読料・送料共前納 1ヶ月－1,500円 1ヶ年－18,000円]

平成8年3月25日

No. 1018

## 1995年の日ロ貿易 —輸出回復と不均衡是正の課題は持ち越し—

### はじめに

このほど大蔵省は1995年の日本の通関実績を発表した。本号では、大蔵省発表の貿易統計にもとづいて当会が作成した、1995年の日ロ貿易の商品別輸出入のデータを紹介する。なお、付属資料として1995年の日本とC I S・東欧各国との輸出入額の一覧表を掲載するので、あわせて参照されたい。

シリーズ ロシア大統領選を追う(5) ..... p. 9

**史上2番目の総額** 1995年の日ロ貿易の総額はドル・ベースで、前年比27.4%増の59億3,347万ドルとなった。ドル建ての総額でみる限り、1992年に底を打ったのち、3年連続で回復したということになる。上半期の動向からみて、1995年の総額は60億ドルを突破し、史上最高額を記録するのではないかと期待された。だが、第4四半期にやや勢いが鈍り、結局1995年の日ロ貿易は60億ドルの大台にはわずかに届かず、1989年に次ぐ史上2番目の規模ということになった(対C I S全体で考えれば、64億2,128万ドルで史上最高となるが)。

もっとも、日本側の輸出不振による入超の恒常化と、円換算の貿易規模の長期的縮小傾向という2つの構造的問題は、1995年にも解決をみることがなかった。一方、第三国で生産した日本ブランドの製品がロシアで巨額の売上をあげたり、日本商社がロシア産品を買い付けて第三国に販売したりと、二国間の枠に収まりきれない(したがって日本の通関統計に反映されない)取引がますます重きをなすようになってきている現実もある。